



イベント広場

花のトンネル

『第59回しずない桜まつり』が4月30日から5月5日にかけて二十間道路桜並木で開かれ、期間中は好天にも恵まれ、道内外から約8万2千人の観桜客が訪れました。

今年も、昨年と同様に開会式やステージイベント、龍雲閣の一般公開を中止したほか、二十間道路の全面飲食禁止やイベント広場内を一方通行にするなど、コロナ対策を徹底して開催されました。

サクラは、平年より5日早い4月25日に開花し、29日に満開を迎え、約7キロにわたる壮大な桜並木が桜色に染まり、会場を訪れた方はきれいなサクラを見ながら散策などを楽しみました。



二十間道路が桜色に染まる

しずない桜まつり開催

NEWS FLASH

佐川急便と災害時における

支援物資の配送の協定を締結

町と佐川急便(北海道支店)が、被災者(長)による『災害時における支援物資の受入及び配送等に関する協定』を4月27日に役場静内庁舎で行われました。

協定では、町内に大規模災害が発生した場合に避難所へ食料や生活必需品などの支援物資を配送する体制を確立するほか、被災者が必要とするニーズの取集など避難生活の安定を図ることを目的としていきます。

青木支店長は「これまでの経験を生かし、支援活動を通じて町民の皆さんの役に立ちたい」と話しました。



タイトルホルダー号

天皇賞(春)を制覇

『第165回天皇賞(春)(GI・芝3200m)』が5月1日に阪神競馬場で開かれ、岡田スタッド(岡田牧雄代表・静内目名)の生産馬タイトルホルダー号が見事優勝を果たしました。

レースでは、同馬がスタートから先頭で集団を率い、最後の直線でも後続を寄せ付けない圧巻の走りで完勝し、昨年の菊花賞に続きGI2勝目となりました。

岡田代表は「優勝はともうれしい。期待して育てた馬なので、これからも故障せず長距離を走ってほしいです」と話しました。



新たな希望を胸に

新規就農研修生修了式と認証式

町農業振興対策協議会(大野克之会長)主催の『新規就農研修生修了式』が4月28日に公民館で開かれ、就農を目指す6組11人に大野会長から修了証や認証状が手渡されました。

2年間のミニトマト栽培の研修を終えた2組3人は、4月から町内で農業経営を開始し、また4組8人が4月からミニトマトや花き栽培で新規就農に向けた2年間の研修を始めました。

大野会長は「楽しみながら仕事に取り組み、いろいろなものに果敢にチャレンジしてほしい」と激励しました。



研修修了者



新規研修者



ダノンスコーピオン号

NHKマイルカップを制覇

『第27回NHKマイルカップ(GI・芝1600m)』が5月8日に東京競馬場で開かれ、(有)ケイアイファーム(中村祐子代表取締役・三石川上)の生産馬ダノンスコーピオン号が見事優勝を果たしました。

同馬は中団の位置でレースを進め、最後の直線は力強い走りで鋭く抜け出して勝利し、GI初制覇となりました。

加藤健場長は「今回の勝利で新ひだか町の名声を高めることとなり大変誇りに思います。とにかく無事で長く活躍してほしいです」と話しました。

町の振興発展に尽力された

本庄康浩副町長退任

2期8年にわたり、副町長として町政を支えた本庄康浩副町長が5月12日に任期満了を迎え、同日、役場静内庁舎で退任式が開かれました。

本庄副町長は、昭和54年に旧静内町職員として勤務し、行革推進課長、総務課長、三石総合支所長、総務企画部長を歴

